



PRESS RELEASE
報道関係 各位

2026 年 1 月 16 日
公益財団法人日本パラスポーツ協会
日本パラリンピック委員会

ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会 日本代表選手団 第一次発表及び旗手について

(公財)日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会(Japanese Paralympic Committee、以下:JPC)は、2026年3月6日(金)～3月15日(日)の日程で開催される「ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会」に派遣する第一次日本代表選手団を決定致しましたので、ご報告申し上げます。

併せて、日本代表選手団の旗手についても以下のとおり発表致します。

【日本代表選手団(第一次決定)】

・添付名簿のとおり

【旗手について】

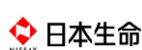
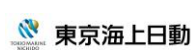
・次頁参照

<本件に関するお問合せ先>

(公財)日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会 企画広報部 黒田・堀添・成見

E-mail: jpcjpsa-media@parasports.or.jp

JPC OFFICIAL PARTNERS





【旗手】 小川 亜希（車いすカーリング）

—パラリンピックの戦績—

バンクーバー2010パラリンピック冬季競技大会 出場

—主な国際大会の戦績—

2024世界車いすミックスダブルスカーリング選手権（韓国）

4 位

2025世界車いすミックスダブルスカーリング選手権（イギリス）

金メダル



—コメント—

この度、ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会において、日本代表選手団旗手を務めさせていただくことになりました、車いすカーリングの小川亜希です。

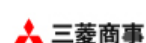
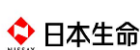
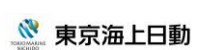
久々のパラリンピック出場で、このような大役を頂き、嬉しさとともに、日の丸を掲げる責任の重さを感じています。ただそれ以上に、憧れの舞台でプレーできる喜びを胸に、皆さんの代表として日本の誇りと笑顔を届ける旗手を務めることができたらと思っています。

全選手がこれまでの努力と自分を信じて、勝利を掴むために最後まで諦めない心で挑戦し続ける姿を、日本の世界の皆さんにみせることで、勇気や感動を少しでも届けられることを願っています。

私自身もこの大会は、長年競技を続ける中で、支えてくれた方々への“感謝の気持ち”と“カーリング愛”を胸に、笑顔で最終日を迎えられるようベストを尽くし頑張ります。

皆さんの応援が選手のパワーになります。日本代表選手団にどうぞ熱い声援をよろしくお願いいたします。

JPC OFFICIAL PARTNERS





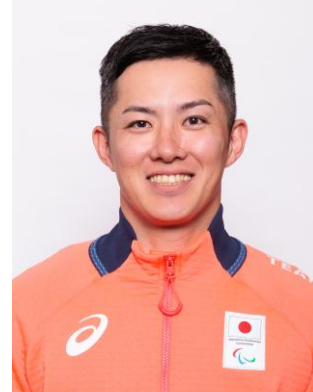
【旗手】 小須田 潤太(スノーボード)

—パラリンピックの戦績—

北京2022パラリンピック冬季競技大会
スノーボードクロス 7 位入賞

—主な国際大会の戦績—

2025 FIS パラスノーボード世界選手権(カナダ)
バンクドスラローム 優勝
スノーボードクロス 5位



—コメント—

パラスノーボードの小須田潤太です。
この度、日本代表選手団の旗手を務めさせていただくことになりました。

今まで以上に最強の布陣で挑む今大会において、私がこの大役に任命していただいたことは、「勝て」という強いメッセージを託されたのだと受け止めています。
改めて、日本代表として戦う責任と覚悟、そして自分自身が掲げている 2 冠を強く意識し、身の引き締まる思いです。

また、スノーボードチームはじめ、各競技のアスリート達は、北京2022冬季大会からの 4 年間、すべてをかけて本気で取り組んできました。
その結果、私が出場するスノーボードチームでは、強化選手 7 名全員が内定を勝ち取るという成果を達成することができました。前大会ではメダル 0 という悔しい結果に終わりましたが、その雪辱を晴らすべく、チーム一丸となって表彰台を狙います。

そして今回、多くの選手にとって初の有観客でのパラリンピックとなります。現地の盛り上がりを全身で感じながら、日本で応援してくださる皆さまへ熱い結果をお届けできるよう、全員で全力を尽くし、最高の結果を目指します。
ぜひ、TEAM JAPAN にご注目ください。

JPC OFFICIAL PARTNERS

